

みんなが知らない、  
ベナンのこと

ワークシート

1. 「ベナン」の冊子を読んで、興味をもったこと、疑問に思ったことは何でしょうか。  
.....  
.....  
.....
2. ベナンがかかえている課題を解決するために、  
どういう取り組みをしたらよいと思いますか。  
あなたの考えを書きましょう。  
.....  
.....  
.....
3. 将来、ベナンで仕事をするとしたら、あるいは、ベナンの人と  
いっしょに仕事をするとしたら、どんな仕事をしてみたいと思いますか。  
それはなぜでしょうか。  
.....  
.....  
.....

年 組 氏名

2021年5月1日 初版発行  
発行：独立行政法人 国際協力機構(JICA)  
本書に関するお問い合わせ：JICAアフリカ部アフリカ第三課  
〒102-8012  
東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル  
Tel：03-5226-8215(年末年始土日祝日を除く9:30~17:45)  
E-mail：6rta3@jica.go.jp  
URL：https://www.jica.go.jp/



※国旗は、国連と同じく3:2のサイズで掲載しています。

監修：岩田拓夫(立命館大学 国際関係学部 教授)  
落合雄彦(龍谷大学 法学部 教授)  
編集制作：株式会社 ワン・パブリッシング  
編集協力：株式会社WILL  
表紙写真：©JICA, ©Alamy / PPS通信社, ©Shutterstock.com,  
©Sèmè City  
イラスト：伊藤美樹  
デザイン：chocolate.  
国連SDGs HP(https://www.un.org/sustainabledevelopment/)  
The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States.



JICAは、日本の政府開発援助(ODA)を行う機関として、開発途上国への開発協力を実施しています。





# 行ってみたい!

アイ シー ティー

## 「ICT産業」「観光産業」

## 2つの顔をもつベナンに!

「ベナン」と聞いてアフリカのどこにある国かわかりますか? どんな風景を思い浮かべられるでしょう? 西アフリカにある南北に細長いこの国は、独自の宗教や文化にあふれる個性豊かな顔をもっています。ですが現在は、「ICT」と「観光」という2つの分野で西アフリカを代表する国になろうとしています。

### ベナン共和国

The Republic of Benin



#### 国旗の由来

緑は南部地方のやしの森、黄色は北部地方のサバナ、赤は独立のために流された血をあらわしている。



「セメシティ」の完成予想図。2030年までに敷地を200haの土地に拡大し、西アフリカの「デジタルハブ」になることを目指している。

ギニア湾を臨む都市、グラン・ポポのビーチリゾート。



©Dave Primov/shutterstock.com



### 目指すは西アフリカいちのICT立国

2017年、ベナンいちの商業都市コトヌーの近郊に、産学共同で整備した、デジタル人材養成機関「セメシティ」の最初のキャンパスが開かれました。上の写真はその全体ができ上がったときの構想図です。

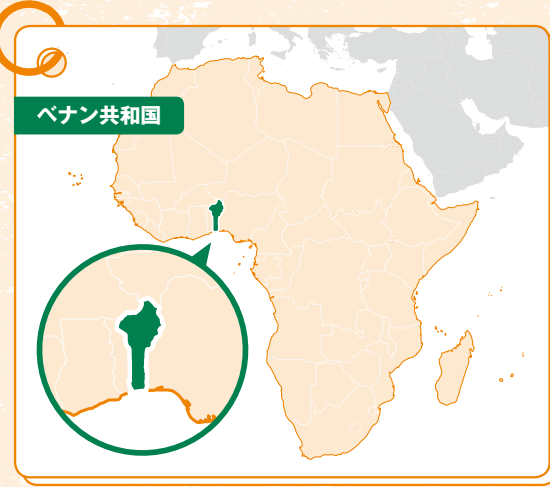
ベナンの主要な産業は農業や港湾サービス業(コトヌー港での湾岸サービス業、ナイジェリアとの中継貿易\*)です。これらの産業は天候や価格変動、国外の情勢の影響を受けやすく、収入が安定しないという課題があります。

そこでベナンが着目したのは、東アフリカのルワンダでした。ルワンダは内戦後、ICT(情報通信技術)の発展で急速に経済成長したことで注目されている国です。ベナンはルワンダを手本としてICT立国化の道を歩み始めました。

ICT産業を育成するうえで、ベナンの最大の課題は人材不足でした。大学などでコンピュータ関連の専門知識を学んだ人がまだ少ないのです。そこでセメシティでは、コンピュータサイエンスやウェブデザインなどを学べる教育機関を新設し、人材の育成に力を入れています。また起業を目指す人に向けた研修も行い、

ビジネスの成功を支援しています。

もともと、ベナン国内のインターネットの普及率は高くありませんでした。そのため政府は2016年、2021年までに普及率を80%に引き上げると発表。海底ケーブルや光ファイバー回線、スマートフォンの高速通信回線の整備を急ピッチで進め、行政での手続きや決済もオンラインでスピーディーにできるよう、基盤を築いてきました。ベナンの都市部では、SNSでメッセージや画像をやり取りすることも、スマートフォンでキャッシュレス決済・送金することも、日常的な光景になっています。



\*中継貿易…外国から輸入した商品を、そのままほかの国に再輸出する貿易の形。中継は「ちゅうけい」とも読む。



## 悲劇のうえに築かれた王宮

ベナンには古くからさまざまな民族が暮らし、各地で王国を築いてきましたが、その中で最も栄華を極めたのは、フォン人が南部に建国したダホメ王国です。17世紀初頭から約300年にわたり南部を支配していたダホメ王国では、王が代わるたびに新しい宮殿を建てました。

コトヌーの北145kmのところにあるアボメイには、土壁でできた12の宮殿の遺跡があり、世界遺産に登録されています。

けれどもダホメ王国の繁栄の裏には悲しい歴史があります。15世紀ごろからベナンにはヨーロッパの国々が進出し、現地の戦争で捕らえられた人々を、奴隷として北アメリカやカリブ諸島、ブラジルに売る「奴隷貿易」を行っていました。ダホメ王国が栄えたのも、奴隷貿易を行うポルトガルなどと手を組んだことが大きな要因でした。

## 奴隷がたどった道と南国リゾート

ギニア湾を臨む町ウィダ。青い海と白い砂浜が広がるこの町は、かつて奴隷たちを船に乗せて送り出す拠点であり、奴隷海岸と呼ばれていた地域に位置します。現在、ウィダでの町では奴隷貿易に関する史跡や博物館が整備され、遠い国へ売られていった奴隷たちに思いをさせることができます。一方で沿岸の整備やホテル開発が進められ、ビーチリゾートとしても魅力のある町に変貌しつつあります。

北部のブルキナファソとの国境沿いは、動植物が数百種以上生息する、自然の宝庫となっています。世界自然遺産に登録されている「パンジャリ国立公園」もあり、自然を保護しながらも、サファリの開発を進めています。

歴史的な建物、豊かな自然など魅力的な観光スポットがあるベナンは、今後、観光立国としての成長も期待されています。

## アボメイの王宮群

12人の王たちが築いた12の王宮の遺跡。宮殿の壁には動物をかたどったレリーフがはめこまれている。



©Alamy / PPS通信社



歴代のダホメの王はそれぞれ動物や植物などをモチーフにしたシンボルをもっていた。12人の王のシンボルを合わせたタペストリーは、ベナンの土産としても人気。

©Alamy / PPS通信社



## 帰らずの門

ウィダの海岸に立つ「帰らずの門」には、手足をつながれて歩くおおぜいの奴隷の姿が描かれている。奴隷貿易のことを知ってもらうため、1995年に建てられた。

©Beata Tabak / shutterstock.com



ウィダ歴史博物館。ポルトガル人の奴隷商人が残した建物で、奴隷貿易に関する資料を展示している。



## 八村塁さん

アメリカのプロバスケットボールリーグ、NBAのプレーヤーとして活躍する八村塁さんは、ベナン人の父親、日本人の母親の間に生まれ、富山県で育ちました。

日本を誇りに思うのと同じように、  
ぼくのもう一つのルーツ、  
ベナンにも誇りをもっています。

—— 八村塁

## Respect …… 尊重する心

中学生のときからバスケットボールを始めた八村さんは、2019年6月、NBAドラフト会議で「ワシントン・ウィザーズ」から1巡目で指名されるという快挙を成し遂げました。その直後の記者会見に、新しく仕立てたジャケットを着て臨んだ八村さん。報道陣に向けて広げて見せたジャケットの裏地には、日本とベナン、2つの国をイメージした絵がありました。





# ベナンって どんな国?

## 公用語はフランス語

メルシー  
**Merci.**  
ありがとう。

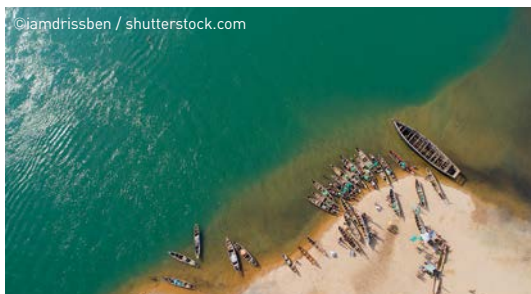
ボンジュール  
**Bonjour.**  
こんにちは。

アンシャンテ  
**Enchantée.**  
はじめまして。  
\*男性が言う場合は  
「Enchanté.」

Q 砂漠はあるの?

**A** 砂漠はないけど、北部は乾燥しています

ベナン周辺には砂漠はありません。けれども北部は降水量が少なく、12~3月の乾季にはとても乾燥します。南部では、4~7月と9~10月に雨が多く降ります。比較的、水は豊富です。



ところどころに湖があり、漁業も行われている。

Q どんなものを食べているの?

**A** 主食は芋でつくる「イニヤム・ピレ」

イニヤム(ヤム芋)をついて餅のようにした「イニヤム・ピレ」は主食の一つ。トマトやピーナッツなどのソースにつけて食べます。料理の味は唐辛子をたっぷり入れた、ピリッと辛いものが多いのが特徴です。



ヤム芋をふかし、臼でついて餅状にする。

Q どんな服を着ているの?

**A** 鮮やかな色の服が特徴的!

日本の夏の服装と同じようなTシャツとジーパンのほか、パーニュと呼ばれるあざやかな色の布で仕立てた服を着ることもあります。町のあちこちで売られている布の中で、お気に入りを見つけると、ひいきの仕立て屋さんで服に仕立ててもらいます。



さまざまな色、柄のファッションがおしゃれ。

Q どんな家に住んでいるの?

**A** ソンバ人の土壁の家が有名です

地域によりますが、伝統家屋として有名なのが、北西部に住むソンバ人の「タタ・ソンバ」です。分厚い土壁の2階建てで野生動物から身を守るのに適しています。かやぶき屋根の下には、とうもろこしなどの穀物を保管できる貯蔵庫があります。



2階へは木の枝でつくった階段で上がります。

## データで見るベナン

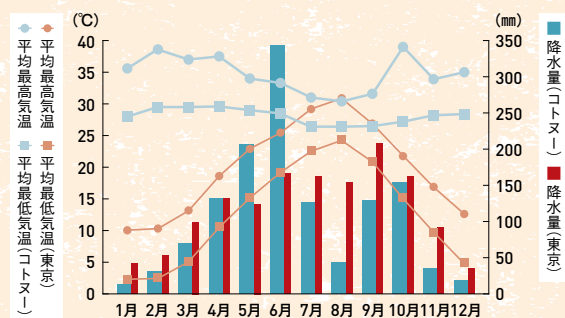
### 基本情報

- 人口: 1212万人(日本の約1/4)(2020年推計値)
- 面積: 11万2622km<sup>2</sup>(日本の約1/3)
- 人口密度: 107.5人/km<sup>2</sup>(2020年推計値)  
[日本346.9人/km<sup>2</sup>]
- 首都: ポルトノボ
- 言語: フランス語(公用語)、フォン語、ヨルバ語など
- 宗教: イスラーム教(27.7%)、キリスト教カトリック(25.5%)、キリスト教プロテスタント(13.5%)、ブドゥー教(11.6%)、そのほかのキリスト教(9.5%)、そのほかの伝統的宗教(2.6%)

\*人口密度は、推計人口とは出典が異なるため、計算すると値が異なる場合があります。

### ●年間平均気温と降水量(コトヌー)

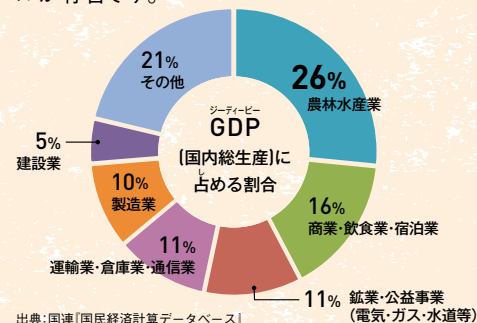
コトヌーはベナン最大の商業都市。南部に位置し、雨がよく降る地域です。



出典: 世界気象機関

### ●主な産業(2019年)

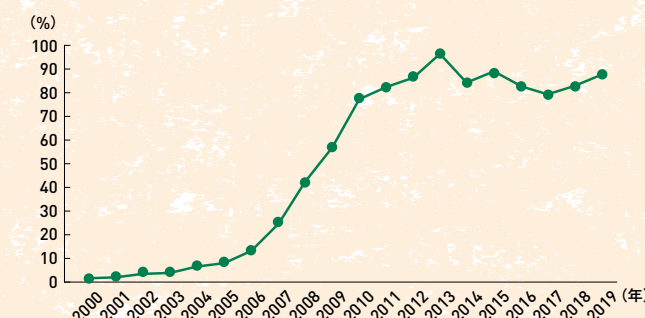
主な産業は、農林水産業と港湾サービス業(港湾使用に関わる産業)です。農業では、綿花、パームオイルが有名です。



出典: 国連「国民経済計算データベース」

### ●携帯電話の普及率の推移

ほとんどの人が携帯電話を持っており、その多くが携帯電話を使ってインターネットに接続しています。



出典: 国際電気通信連合



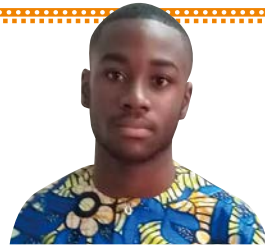
もっと知りたい！  
ベナン①

# 教えて！ ベナンの中学生のこと

教えてくれたのは

ホンサ・ジョアネスさん

サクレ・クール政府支援校  
の3年生、15歳。



ベナンの中学生のことを  
紹介します！

## 学校制度

ベナン	6歳 初等教育 (1~6年生) 6年	12歳 中等教育 前期(1~4年生) 4年	15歳 中等教育 後期(5~7年生) 3年	18歳 高等教育 (1~3年生) 4年
日本	小学校	中学校	高等学校	大学

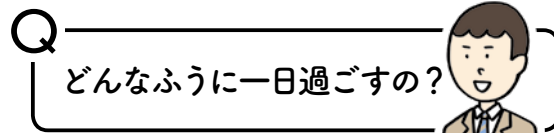
教えてくれたのは

ゾンベジ・フィデリアさん

ノートルダム・ド・トゥット・レ・  
グラス学校の3年生、18歳。



ベナンでは、日本でいう  
高校までが中等教育なの。



Q どんなふうに一日過ごすの？

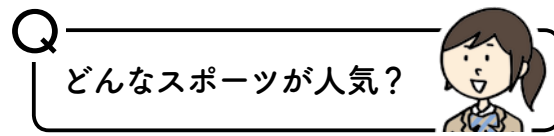
A ぼくの学校は、朝7時から19時  
まで授業があるんだ。

7:00~12:00 授業

12:00~15:00 ランチ

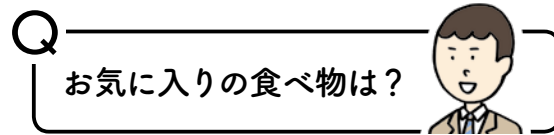
15:00~19:00 授業

ユニセフの調査によると、ベナンでは、中学校  
に通う年齢の子どもの半数近くが働いていて、  
学校に通っていません。地方には教育が行き  
届いておらず、まだまだ支援が必要です。



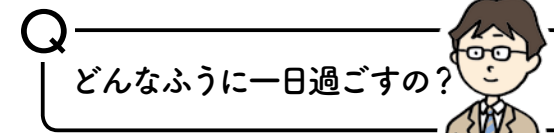
Q どんなスポーツが人気？

A サッカー、バスケットボール、テ  
ニス、水泳、バレーボール、ハンド  
ボールが人気だよ。



Q お気に入りの食べ物は？

A 骨付きチキンとフルーツサラダが  
好き。



Q どんなふうに一日過ごすの？

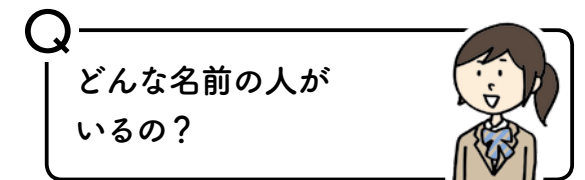
A 学校は、朝7時から始まるよ。ラン  
チタイムは、一度家に帰って、食  
事をするの。午後の授業は15時から。

7:00~12:00 授業

12:00~15:00 ランチ

15:00~19:00 授業

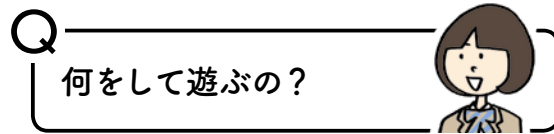
ベナンの義務教育は6~16歳までの10年間  
です。期末試験の成績などから進級できる  
かどうかを判断し、一定のレベルに達して  
いなければ落第します。



Q どんな名前の人  
がいるの？

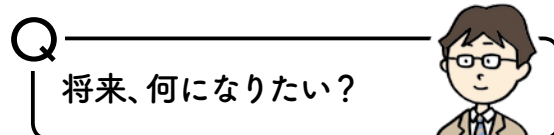
A 女の子だと、エスターっていう名  
前が多いかな。「星」という意味が  
あるんだよ。

ほかに、ケヴァン(意味:祝福された人)などの  
名前も多い。キリスト教を信仰する人は、聖書  
に出てくる人物から名前をつける。



Q 何をして遊ぶの？

A 放課後はゲームが多いかな。プレ  
イステーションを持つてるよ。



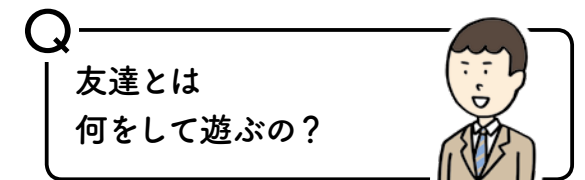
Q 将来、何になりたい？

A 情報処理の専門家か、トレーダー。

！とってもかわいい！  
ベナン  
制服コレクション

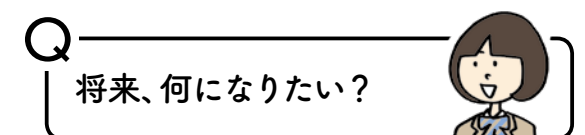


学校ごとに制服があ  
る。明るい色のデザ  
インがとても似合っ  
ている生徒たち。



Q 友達とは  
何をして遊ぶの？

A バレーボールなどをするよ。それ  
から、もちろん、おしゃべりする  
のも大好き！



Q 将来、何になりたい？

A 国際公務員になりたいです。



# 人々の生活は エネルギーに満ちている!

## 学校も診療所も水の上!

大西洋沿岸近くのノクエ湖。船着き場から6kmほど沖に進んだところには、ガンビエと呼ばれる、アフリカ最大の水上集落があります。約4万人の人たちが水の上に竹とかやで高床式の家をつくり、暮らしています。18世紀、奴隷狩りから逃げた人たちが、湖の中の小さな島に住むようになったのが、この集落のはじまりだといわれています。

学校や診療所、警察に銀行、礼拝堂まで、生活に必要なすべての施設が水上にあり、人々

は手こぎのボートで町の中を移動します。一人で学校までボートをこいでいけるように、子どもたちも小さなころからボートのこぎ方を覚えます。

ガンビエの家庭の多くは漁業で生計を立てています。男性が魚をとり、女性が陸地にある市場に売りに行くという役割分担があります。

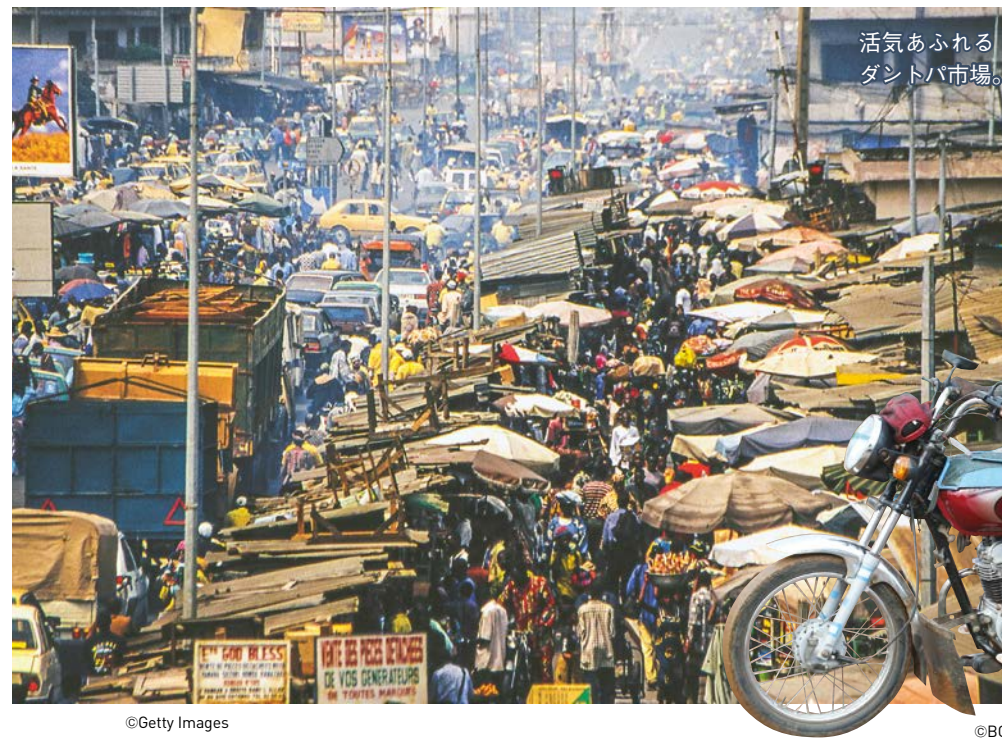
ガンビエでは、ボートで集落を回る観光ツアーがあり、観光スポットとしても注目を集めています。このアフリカ最大級の水上集落は、「イタリアの水上都市にちなんで、「アフリカのベネチア」ともいわれています。

©Gilles COMLANVI/shutterstock.com



©Beata Tabak /shutterstock.com

ガンビエでは、ボートに商品を積んで集落を回り、商売をする人も多い。



活気あふれる  
ダントバ市場。

©Getty Images

©BOULENGER Xavier / shutterstock.com

## ゼミジャン

100セーファーフラン  
(日本円で20円前後)  
の距離から利用できる  
バイクタクシー。

## 何でもそろそろ 西アフリカ最大の市場

コトヌーには、約20haの土地に1万7000軒以上の店が集まるダントバ市場があります。西アフリカ最大の市場で、布や飲食物、中古の電化製品などを売る店がびっしりと並んでいます。何でもそろそろこの市場は、一日に20万人を超える買い物客が訪れる盛況ぶり。隣国のナイ

ジェリアから買い物に来る人もいるほどです。

市場の周辺では、買い物客の送り迎えをする「ゼミジャン」と呼ばれるバイクタクシーが列をつくって待機しています。「ゼミジャン」はフォン語で「早く連れて行って」という意味。ゼミジャンはコトヌー市に登録し、バイクタクシーとして営業許可を得ています。運転手が登録番号の書かれた黄色いシャツを着ているのが、コトヌー市のゼミジャンの目印です。

## JICAの協力

### 新鮮な魚を市場へ

ベナンでは日本と同じように魚がよく食べられます。ダントバ市場には、ギニア湾のコトヌー漁港から毎日魚が運びこまれています。けれども、設備が整っていないコトヌー漁港では、魚の水揚げに時間がかかっていました。魚を冷蔵保存することもできず、市場に新鮮な魚を届けられませんでした。そこでJICAは、コトヌー漁港で効率よく水揚げすることができる施設の建設、製氷機や冷凍庫などの機材の調達に協力しました。



魚市場には、魚を冷蔵保存するための製氷機も完備。



©JICA



# おもしろい 祭りがいっぱい

## 先祖の魂を宿す「エグングン」



ベールには貝  
がらがびっし  
りと縫いつけ  
られている。

## ベナンの生活に根づいた ヴオドゥン(ブードゥー)

ベナンはヴオドゥン(ブードゥー)発祥の地として知られています。フォン語のヴオドゥンには、「精霊」という意味があります。

日本では古くから恵みをもたらしてくれる海や山、田んぼなど、自然には神様が宿していると考え、祭事を行ってきました。ベナンでも同じように、火や水、雷など自然界のあらゆるもの、見えないものにも精霊が宿していると考えられています。ヴオドゥンの祭りはこの信仰に基づいた宗教的活動なのです。

ヴオドゥンはダホメ王国時代に生まれ、奴隷たちによってブラジル、ハイチ、北アメリカにも伝わり、地域によってさまざまな形式に変化していきました。

ベナン独立後の一時期、ヴオドゥンは近代化を妨げるものと見なされていました。しかし、民主化をきっかけに国の伝統的な文化であると考えられるようになり、1989年には国で保護すべき特別な宗教的活動の一つに位置づけられました。現在のベナンでは国民の大半がキリスト教かイスラーム教を信仰していますが、あわせてヴオドゥンの思想に基づいた宗教的活動をしている人が多くいます。

## エグングンとザンベドを 囲んで盛り上がる

1月10日の祭りの日は、ヴオドゥンの国民的祝賀として、1996年から国の祝日になりました。この日には、日本のお盆と同じように、亡くなった先祖の魂を迎えます。ウィダ周辺の地域では祭りのはじめ、帰らずの門(→P.5)に向かいます。かつて奴隷となった先祖の魂を迎えるためです。祭りの主役は「エグングン」と「ザンベド」と呼ばれる、ユニークな衣装を着た人たちです。エグングンは先祖の霊で、ザンベドは死の国からやってきた神様とされています。

エグングンはあざやかな絵柄の入った衣装を身にまとい、顔をベールで覆っています。踊っているエグングンの目を見ると縁起が悪いといわれることから、ベールにはたくさんの貝がらが縫いつけられ、目がかくれるようになっているのです。

## 死の国からやって来た「ザンベド」



わらの中に入っている人は、姿を見られてはいけないといわれている。

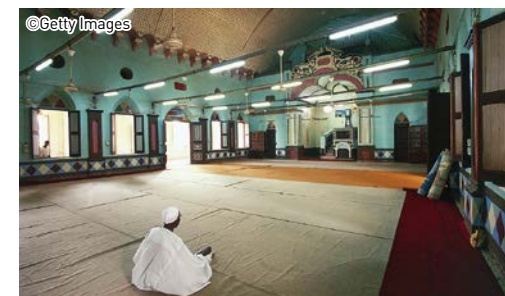
ザンベドはカラフルな色をつけたわらを重ねてかぶっています。体を揺すったり、くるくると回転したりしながら歩きます。

人々はそろいの布で仕立てた服を着て、打楽器のリズムに合わせて、それぞれの民族や集落に伝わる踊りを披露し、エグングンやザンベドにささげます。隣国のトーゴやナイジェリアをはじめ、世界中から見物客が詰めかけ、熱気は最高潮に達します。

## 【断食の終わりを家族で祝う】

ベナンには、イスラーム教を信仰する人が3割近くいます。イスラーム教では毎年約1か月間、ラマダンという日中の断食を行います。ラマダン期間中、太陽が出ている間は飲食することができません。

ラマダンが明けの日から3日間は「イード・アル=フィトル」というお祝いをします。新しい服を着てモスクに行き礼拝をし、家族や親せきが集まってごちそうを食べます。イード・アル=フィトルの1日目は、国の祝日にもなっています。



首都ポルトノボのモスク。

## 【子どもたちが歌い踊るクリスマス】

ベナンでは、人口の半数近い人がキリスト教を信仰していて、日曜日には教会で行う礼拝に通います。キリストの復活を祝う「イースター」、その後40日目の「昇天祭」、そしてクリスマスなど、キリスト教にとって重要な日は国の祝日でもあります。教会にはいつもより多くの人々が訪れます。クリスマスが近づくと、町にクリスマスツリーが飾られます。子どもたちが家々を訪ねて賛美歌を歌い、お小遣いをもらう習慣もあります。



©Cora Unk Photo / shutterstock.com



# ベナンの人たちは こんなに若い!

## 赤ちゃんが たくさん生まれている

日本は今、人口の約4分の1が65歳以上の高齢者で、「超高齢社会」といわれています。平均寿命が延びるかたわら、生まれてくる子どもの数が減っていることから、人口に占める高齢者の割合が増えてきたのです。

ベナンは日本とは対照的に若い人が多く、国民の約半数が18歳以下で、若い人の割合が高くなっています。そのいちばんの理由は、生まれてくる赤ちゃんの数が多いためです。

日本では毎年、人口1000人当たり7.6人の割合で赤ちゃんが生まれていますが、ベナンでは1000人当たり約37人もの割合で赤ちゃんが生まれているのです(2017年)。



ベナンでは4~5人きょうだいは当たり前。家族の中で年長者が妹や弟のお世話をよくします。

## JICAの協力

### 赤ちゃんとお母さんを守る 病院建設

ベナンでは、妊娠中の女性や5歳未満の小さな子どもが亡くなる割合が高いという問題もあります。妊婦健診や、緊急手術を受けられる病院の数が限られ、医療を受けにくいことが背景にあります。

JICAでは、医療不足が深刻なアトランティック県で、拠点となる病院の建設、医療機器の整備に協力し、2018年に病院が完成しました。以前この地域では、緊急の帝王切開の手術などは、別の地域の病院に2時間以上かけて妊婦を搬送するしかありませんでした。病院が完成したことで、遠くの町まで移動せずすぐに手術を受けられるようになりました。



衛生的な手術室もある。



2018年に完成したアラダ病院。

## JICAの協力

### 子どもたちのために 教室を増やそう

ベナンでは以前は小学校に通えない子どもが多かったことから、15歳以上の識字率(読み書きできる人の割合)は約42%に過ぎません。しかし2006年以降、就学率が伸びて、15~24歳までの若者の識字率は60%と比較的高くなっています。

小学校に通う子どもが増えたため、新しい教室の建設が追いつかないという課題が出てきました。特に人口が急増している南部のアトランティック県では、2017年の時点で1つの教室で約66人の生徒が学んでいる状態でした。そこでJICAでは、2018年から小学校と幼稚園の教室、付帯施設、教室家具の整備に協力。2021年2月までに176教室が完成しました。2005年以来ベナンには330人の海外協力隊員が派遣され、その半数以上が保健や教育分野に携わり、特に子どもたちの健康的な成長や基礎学力の充実に貢献してきました。



1. JICAの協力で建てられたアトランティック県の小学校。
2. 海外協力隊員が考えた運動会開催で、小学生が大興奮。

## すべての子どもたちを小学校へ

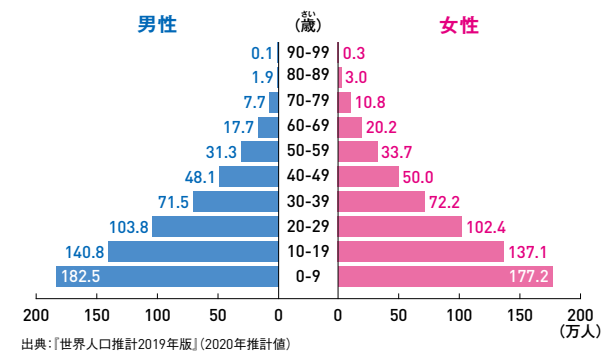
ベナンでは6~16歳の10年間は義務教育です。小学校を卒業するときには試験を受けて、合格した人だけが中学校に進むことができます。中学校は4年間、その後の高校では3年間学びます。高校を卒業した後は、大学や専門高等教育機関で学ぶ道があります。

ベナンにはさまざまな民族の言語がありますが、国の公用語がフランス語であることから、学校の授業もフランス語で行います。

学校に通っている割合を就学率といいます。1990年ごろは、ベナンの小学生の就学率は約半分でした。

政府は国の発展のためには、将来を担う子どもたちが教育を受けることが必要と考え、2006年に小学校の教育費を完全に無償化しました。全国各地で小学校の建設も進み、これまで学校に行っていなかった子どもたちも行くようになり、就学率は急激に伸びました。

### ●年齢構成(2020年推計値)



### ●1人の女性が産む子どもの数(2020年推計値)

